

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社サンデリカ		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 101-0032 東京都千代田区岩本町3丁目10番1号	
本票作成	部署名：工務課				
主たる業種	分類コード	09	業種名：食料品製造業		
事業の概要	弁当・調理パン・調理麺等の製造・供給				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	(株)サンデリカ岡山事業所		総社市井尻野380-1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				
温室効果ガス排出量	基準年度(令和元年度)	(令和5年度)年度排出量		目標年度(令和6年度)	
	6,162 t CO ₂	5,445 t CO ₂		5,854 t CO ₂	
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		(令和5年度)年度排出量	
	①	(株)サンデリカ岡山事業所		5,445 t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
削減目標の達成状況	計画期間： 令和2年度 ～ 令和6年度 (5箇年度)				
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(5年度)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	18.8 %	5.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達	
(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産高	原単位当たり排出量			
		基準年度	(5年度)	目標年度	
		0.729 t CO ₂ /(百万円)	0.592 t CO ₂ /(百万円)	0.693 t CO ₂ /(百万円)	
(該当事業者のみ記入)					
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和5年度)	達成率等	
【削減状況の自己評価】					
デマンド警報により空調・設備・照明等の停止並びに電気容量の大きい設備の使用をピーク時間帯を避け運転管理した。 照明を順次LED照明にほぼ更新済 コンプレッサー更新及び炊飯のエア配管ループ化によりエア圧力の見直しなど。 今後も計画に基づき実施並びに追加の削減対策を検討する。 生産形態の変更とか設備への空調とかで段々エネルギー使用量が増の傾向。					

【推進体制】

所長・生産次長・管理次長・エネルギー担当者(工務)・各課長及び事務局で構成
 省エネパトロールの実施による節電対策の実施・事務所等のデマンド対策としての節電

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(株) サンデリカ 岡山事業所	(令和5年度分) 省エネパトロールの強化(無駄な電気の削減・節水・エア漏れ・ガス・蒸気もれ等の早急な対応。 センサー付照明に取替。 老朽化設備の更新。 コンプレッサー更新。 随時照明をLED照明に更新 (10×2灯) (CO2削減量 0.6 t/年) 炊飯エア配管ループ化によるエア消費量の削減 麵・加工冷水設備冷凍機への金属摩耗復活剤の施工 (CO2削減量 31t/年) 各生産設備の停止時間の温調OFF等。 蒸気トラップ点検 窒素発生装置の連続運転からタイマー運転に！ (今後予定実施分) ボイラー本体及び給水配管のラッキング。 工場屋根上への散水。 省エネ勉強会を実施し従業員の意識改革を図る。 空調(室外機)への遮熱及び散水の検討。 冷凍機への省エネ対策の検討。 太陽光の検討。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】